

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	成人看護援助論Ⅱ (循環器)	対象学生	第2学年
		単位数(時間数)	1単位(30H)	学 期	第1学期
担当講師	看護師				
科目目標	1. 生命の危機的状態にある患者の看護を理解する。 2. 生命の危機的状態に陥りやすい循環器疾患患者の看護を理解する。 3. 対象の看護に必要な技術を習得する。				
授業概要	<p>周手術期にある対象の特徴と看護 担当:看護師 11H</p> <p>第1～5回 1. 手術前の看護 1)インフォームドコンセント、手術の意思決定への援助 2)手術前のオリエンテーション、心理面を整える(ボディイメージ変容への援助)、全身状態を整える(栄養、術前訓練(深呼吸、排痰訓練)、循環) 3)手術前日の準備(術前の清潔、消化管の準備、手術に必要な書類、必要物品)、術後合併症のリスクアセスメントと援助 4)手術当日の看護、手術室入室の準備、手術室への入室と引き継ぎ、術後患者のベッドメイキング) 5)家族への看護</p> <p>2. 手術中の看護 手術室の安全管理(セーフティマネジメント)、患者確認、ガーゼ遺存の防止、手術方法・麻酔・体位による影響と援助、クリーンルームの管理、入室時の看護、麻酔導入時の看護、器械出し(直接介助)看護師の役割、外まわり(間接介助)看護師の役割(静脈経路の確保と管理、輸血の管理、手術看護記録等)</p> <p>3. 手術後の看護 生体反応、術後の環境調整、術後疼痛管理、疼痛緩和と早期離床への援助 創傷管理:ドレーン(胃管含む)の管理・創傷処置 (演習)</p> <p>集中治療室の看護 1)ICU・CCUの目的と看護師の役割 2)ICU・CCUにおける看護</p> <p>第6～14回 急性期にある対象の特徴と看護 担当:看護師 19H 術後合併症と予防(術後出血、下肢静脈血栓、肺塞栓症、呼吸器合併症、感染症、廃用症候群)</p> <p>循環機能障害のある患者の看護 1)原因と障害の程度のアセスメントと看護 (1)ポンプ機能障害(2)刺激伝導障害(3)血管・リンパ管障害(4)生命・生活への影響 2)主な症状のある対象の看護 (1)胸痛(2)動悸(3)呼吸困難(4)浮腫(5)チアノーゼ(6)めまい・失神(7)四肢の疼痛(8)ショック 循環に関するフィジカルアセスメント(演習) 3)検査・処置を受ける対象の看護 (1)心電図(2)心血管超音波(3)血管造影(4)心臓カテーテル(5)血行動態モニタリング (スワン・ガンツカテーテルの挿入、中心静脈圧のモニタリング) 心臓カテーテル検査の看護(演習) 標準十二誘導心電図、心電図モニタ(演習) 4)治療を受ける対象への看護 (1)経皮的冠動脈形成術<PCI>(2)冠動脈バイパス術<CABG> (3)大動脈内バルーンパンピング<IABP> (4)ペースメーカー(5)植え込み型除細動器 (6)血栓溶解療法・血栓除去術(7)弁置換術、弁形成術 5)病期や機能障害に応じた看護 (1)心不全(2)虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)(3)弁膜症(4)不整脈(5)血圧異常(6)閉塞性動脈硬化症 (下肢動脈閉塞症)(7)動脈系疾患(大動脈瘤)(8)リンパ管障害</p> <p>第15回 終了試験</p>				
看護師国家試験出題基準	周手術期にある対象の特徴と看護 (生体反応、術後の環境調整、術後疼痛管理、疼痛緩和と早期離床への援助、創傷管理) 急性期にある対象の特徴と看護 (術後出血、下肢静脈血栓、肺塞栓症、呼吸器合併症、感染症、廃用症候群) 循環機能障害のある患者の看護 (ポンプ機能障害、刺激伝導障害、血管・リンパ管障害、心電図、心血管超音波、血管造影 心臓カテーテル、経皮的冠動脈形成術、冠動脈バイパス術、弁置換術・弁形成術、大動脈内バルーンパンピング、ペースメーカー 植え込み型除細動器、血栓溶解療法・血栓除去術、心不全、虚血性心疾患、弁膜症、不整脈、閉塞性動脈硬化症)				
授業の進め方	臨床で遭遇する頻度が高く、基本的知識として必要な内容を選択して教授する。また、臨床で実施する機会 の多い看護については、演習を行い技術の習得を図る。				
履修のポイント・留意事項	形態と機能、疾病・治療論、薬理学、診療補助技術、基礎看護援助論Ⅰ・Ⅱ、成人看護学概論などの				

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	成人看護援助論Ⅱ (循環器)	対象学生	第2学年
		単位数(時間数)	1単位(30H)	学 期	第1学期
担当講師	看護師				
内容を想起する。					
テキスト					
系統看護学講座 成人看護学〔3〕循環器 医学書院 系統看護学講座 臨床外科看護総論 医学書院 系統看護学講座 臨床外科看護各論 医学書院 フィジカルアセスメントガイドブック 医学書院					
評価方法・配点					
課題レポート、授業態度(演習参加度等)、科目終了試験を総合して行う。					